

平成28年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

寄付者の方から使い道を特定して福井県にご寄付いただいたふるさと納税は、以下のとおり活用させていただきました。

平成28年4月から平成29年3月までに
使い道を特定していただいた寄付

件数 656件

寄付金額 50,192,001円

① ふるさと母校応援

寄付金額 16,509千円

- 福井県内の各高校で学ぶ後輩を応援していただくことができ、寄付額のうち、1/2は指定先の高校へ、残りの1/2は返還の必要のない県全体の給付型奨学金制度「きぼう応援奨学金」に活用させていただきます。
- いただいた高校では、生徒たちに必要な講堂のスクリーンの購入やスポーツ用具等の購入、海外研修の実施に活用しました。
- 平成27年度から毎年20名の生徒に対して、「きぼう応援奨学金」を3年間給付しています。



給付を受けた生徒からの手紙



講演用スクリーンの設置

② 高校生の長期海外留学支援

寄付金額 16,122千円

- 高校生のきぼう実現を応援し、国際社会で活躍できる人材を育成するため、平成28年10月に、高校生の長期留学に対する奨学金制度を設けました。この制度では、これまで支援制度がなかった1年以上の留学に対しても、奨学金を給付することとしました。
- 平成28年度は、アメリカや香港に留学する高校生4人を奨学生として採用し、奨学金を給付しました。



奨学生が留学している UNITED WORLD COLLEGES の学生たち

③ 福井しあわせ元気国体・障スポ応援

寄付金額 12,473千円

- 福井県では、平成30年に国体が開催されます。いただいた寄付金は、次の目的に使用させていただきます。
 - 障害者大会の運営費（バリアフリー環境の整備）
 - 大会を契機とした次代に残る環境整備
 - 来県者の心に残る福井流のおもてなし県民運動
- 障害の有無にかかわらず、すべての人がスポーツの素晴らしさと感動を共有できる大会をめざし、国体と障害者スポーツ大会の融合を進めます。



④ 福井城山里口御門の復元

寄付金額 2,784千円

- 県都の新たなシンボルとする「福井城址公園」整備の第一歩として、福井藩主が登城する際に通った「山里口御門」の復元整備を進めています。
- 寄付者の皆様を対象に開催した記名会では、延べ400名の寄付者にご参加いただき、石瓦や壁板・野地板にお名前や記念のメッセージ等をお書きいただきました。
- 平成28年度より御門の建築工事に着手しており、寄付者の皆様にご記名いただいた石瓦や野地板（天井板）の施工も完了しました。



復元予想図

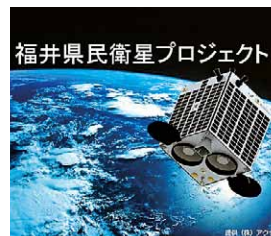


野地板の施工完了

⑤ 福井県民衛星プロジェクトの応援

寄付金額 1,299千円

- 福井県では、地方発の新たなビジネスモデルとして、超小型人工衛星の平成31年度打上げを目指しています。
- 平成28年11月からいただいた寄付金を活用し、衛星の製造拠点となるクリーンブースが平成29年2月に完成しました。また、宇宙や宇宙産業への関心・知識を深めるため、「宇宙産業促進セミナー」を開催し、約200名の参加者にお越しいただきました。
- 本プロジェクトを通じ、宇宙産業への県内企業の参入を促進するとともに、衛星データを活用し、防災・農業・教育など幅広い分野で県民生活の向上を目指していきます。



宇宙産業参入促進セミナーの開催（平成28年7月）

(表面からの続き)

⑥ 若者チャレンジの応援

寄付金額

655千円

- 担い手不足により参加者が減少している美山地区の「じじぐれ祭」など5つの祭りに若者たちの参加を呼びかけ、応援しました。
- 若者グループが提案・実施する地域活性化のプランコンテストを開催し、応募のあった19プランのうち、損紙を使った越前和紙ノートの製作・寄付など7プランを採択し支援しました。
- 地域を盛り上げるため、学生パワーを結集した大規模な合同大学祭を開催しました。



じじぐれ祭の応援



プランコンテストの開催

⑦ 希望実現プロジェクトの応援

寄付金額

225千円

- 希望学「若者の夢応援プロジェクト」として、実際に夢をかなえた福井県出身者を講師として中学校に派遣し、希望と夢の実現に関して講義と実技指導等を行いました。
- 平成28年度は14中学校へ15回講師を派遣し、合計1,555人の生徒に対して夢の実現に向けての講義や、競技かるたやフェンシングなどの実技指導を行いました。



講義



実技指導

⑧ 「毛矢の繰舟」運航の応援

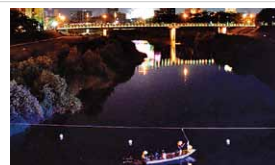
寄付金額

125千円

- 福井市中心部を貫流する足羽川で、幸橋が架けられる幕末まで行われていた「毛矢の繰舟」を再現しています。繰舟体験を通して、福井の歴史や交通手段の変化を知ってもらい、人と川の繋がりを広げていきます。
- 平成28年度は4月から11月の期間で計18回運航し、合計1,138人に体験していただきました。



桜の時期の運航



足羽川花火大会

※平成29年度は新しい地鶏ブランドの確立を目指す「新ブランド「福地鶏」の普及応援」をプロジェクトに追加いたします。

平成28年度 ふるさと納税寄付金活用事業のご報告

使途を定めずにご利用ください

使い道のご指定なく福井県にご寄付いただいたふるさと納税は、以下の事業に活用させていただきました。

平成28年1月から12月までに
いただいた寄付

件数

144件

寄付金額

7,346,000円

① 「福の井」再整備事業

寄付金活用額

5,623千円

福井城築城当時からあったとされている福井城天守台の「福の井」を、より親しんでいただける場所となるよう、再整備を行いました。井戸の石積みや井戸枠を江戸期の大きさに復元し、修景施設として上屋を建築するとともに、給水栓により井戸水を利用できるようにしました。



再整備した福の井

② 芸術教育推進事業

寄付金活用額

1,146千円

小・中の弦楽推進校を設け、バイオリン・ピオラ・チェロを貸与したほか、プロ奏者を派遣し技術指導を実施しました。また、児童・生徒、指導者が一流の弦楽奏者の演奏を鑑賞したり、指導を受けたりする機会を確保しました。

各推進校が、それぞれの学校の特色を生かしながら校内外で発表会や複数校による合同演奏会を開催しました。



推進校による「福井駅なかコンサート」の様子



五嶋みどりの教室訪問演奏の様子

③ 「白川文字学」普及・研究促進事業

寄付金活用額

577千円

白川静博士没後十年記念事業として「白川文字学の室」をリニューアルオープン。約6,000冊の蔵書を配架した実物大の書棚や愛用の机などを設置し、博士の書齋を忠実に復元しています。また、著書や研究の資料である青銅器、甲冑の他、直筆原稿の展示や拓本のトレースを通して博士の研究を追体験できる全国唯一の常設展示室となっています。



白川文字学の室



博士の書齋復元